IT can create it.

KEYWARE

2013 CSR REPORT
キーウェアグループ CSR報告書

社会やステークホルダーの皆様から信頼されるとともに成長を期待される企業を目指します

豊かな社会の発展に貢献する企業を目指して

キーウェアは、企業理念として「創造性に富んだ情報技術によってお客様の要求を超えたソリューションを提供し、お客様の夢・理想を実現させ、豊かな社会の発展に貢献します」という社会的役割を掲げています。つまり、お客様に最適で品質の高いサービスを提供することにより、ご満足いただくこと、また、事業を通じて社会の課題解決に寄与し、豊かで安心・安全な社会の発展に貢献することがキーウェアの社会的責任でありCSRの基本的考え方です。

キーウェアは、約50年にわたり、官公庁、運輸、通信、金融、医療、流通、製造といった多様な分野において、社会インフラを支える情報システムの構築に携わり、多くのお客様から高い信頼をいただいてまいりました。キーウェアがこれからも事業を通じて持続的に社会的責任を果たし、お客様や社会とともに成長を続けていくためには、社会のニーズに対応したサービスを提供していくことに加えて、経営の健全性・透明性を保ち、誠実な事業活動を推進していくことが重要だと考えています。キーウェアでは、倫理・法令遵守意識のさらなる向上を目的として、社員一人ひとりがキーウェアの担う役割と社会的責任を意識し、日々の活動で実践していくよう「社員行動規範」を配付し徹底をはかっています。また、技術力の強化、品質の向上に取り組むほか、さまざまなCSR活動を推進し、社会やステークホルダーの皆様から信頼される企業であり続けることを目指しています。

社会の多様なニーズに応える ソリューション・サービスを提供

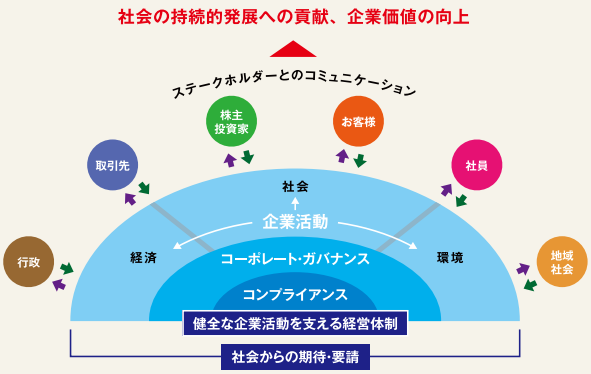
今日、ITソリューションやサービスは、ビジネスや暮らしを支える社会インフラとして必要不可欠な存在となっています。また、クラウドコンピューティングやスマートデバイスの急速な普及によって、利活用の形態やサービスが多様化・高度化し、ビジネス環境や人々のライフスタイルのあり方に大きな変化をもたらしています。

キーウェアでは、このような環境変化に迅速、柔軟に対応し、社会インフラを支えるシステムの構築から、暮らしに役立つサービスの提供まで、最新のIT技術と柔軟な発想で社会の多様なニーズに応えるソリューション・サービスを提供していきます。

昨年4月、東北地方の拠点として宮城県仙台市に東北支店を開設しました。現在、公立病院の電子カルテシステム導入プロジェクトや産学官連携によるスマートアグリ（農業）領域への参入などが進んでいます。今後も地域の特性に鑑み、地域のニーズに応えながら事業領域の拡大と、東北地域の復興と発展に

CSRの考え方

キーウェアは、社会からの信頼や期待に応えていくために、お客様、株主、社員、取引先、地域社会をはじめとするあらゆるステークホルダーの方々と積極的にコミュニケーションをはかりながら事業活動を行うことにより、社会の持続的発展への貢献を目指しています。



ITサービスを通じて貢献してまいりたいと考えております。

セキュリティ分野においては、指ハイブリッド認証応用製品「指ハイブリッド認証モジュール」を販売開始いたしました。近年、情報漏えい防止、不正アクセスなどを防ぐための本人確認の有効な手段として、生体認証を用いた高度なセキュリティへのニーズが高まっていることに対応したものです。本モジュールを実装することで、入退室リーダ・複合機・キオスク端末等のセキュリティのニーズが求められる機器において、セキュリティを強化することが可能となります。

今後も、事情環境の変化や社会のニーズに対応し、新たな事業領域やサービスに積極的に取り組んでまいります。

チャレンジする社員を支援

新たな領域やサービスの創出に積極的に取り組んでいくため、社員の意欲や行動を適切に評価するとともに、スキルアップを目指す社員の支援を行っています。今後も、多様化・高度化するお客様のニーズにお応えしていくため、社員が成長しスキルアップできる環境づくりに努めていく考えです。

キーウェアはこれからも、ITを通じたさまざまなサービスの提供により、豊かで安心・安全な社会の実現に貢献してまいります。

代表取締役社長

三田昌弘

経営理念

事業領域	情報技術に関する全てを事業領域とします。
企業風土	個人の個性と能力を発揮することに価値を置きます。
社会的役割	創造性に富んだ情報技術によってお客様の要求を超えたソリューションを提供し、お客様の夢・理想を実現させ、豊かな社会の発展に貢献します。
企業スローガン	IT can create it. クリエイティブな発想で、ITの持つ無限の可能性を現実のものとします。

安心　安全　便利

私たちは、情報システム・豊かで便利な社会の発展を

01 空港で

安全

航空路管制システム

通信入出力DUAL（二重構造）制御やスポット管理全般の特殊なノウハウを駆使してシステムを開発しています。

02 工場で

便利

ERPソリューション

製造・プロセス業／サービス業／商社のお客様を中心に多くの基幹系業務システムの導入実績を有しています。お客様の事業に最適なERPパッケージを活用し、導入提案から構築・運用に至るまで、一貫したサービスを提供しています。

03 流通で

便利

商社向け在庫管理・入出庫管理システム

商社向け在庫管理や入出庫管理システムの構築に携わっています。

04 高速道路で

便利　安全

交通情報ソリューション

各種交通情報（渋滞、信号機制御、感知器情報等）の蓄積、表示板への渋滞情報や位置情報等の表示に関するソリューションを提供しています。

05 街中で

便利

野球・ゴルフ・大相撲などのスポーツ情報のニュース配信システム

作成側と取り込み側両方の技術を有し、配信社および新聞社など複数の事例を手がけています。

06 固定電話で、携帯電話で

便利

一般電話（NTT）、携帯電話の通信情報、パケット通信情報、顧客管理、料金管理など

20年以上にわたってネットワーク事業者の顧客料金システム開発に携わっています。通信料金を計算して各センターに設置されている料金明細センターへ転送するシステムの開発、保守・運用を行っています。

07 病院で

安心

オーダリングシステム、電子カルテ、臨床検査システム、院内感染監視システム

病院や検査センターにおける各種医療情報システムのコンサルティングから導入・保守・運用までの一貫したサービスを提供しています。

サービスを通じて支えています。

14 宇宙で

安全

衛星追跡管制・衛星関連データ処理 宇宙ステーション運用管制

地上側での衛星運用に関わるソリューションを提供しています。日本の宇宙開発の黎明期から国家プロジェクトに参画し、多くの実績を有しています。

13 オフィスで

安心 便利

経営とITの統合コンサルティング

ITの実装を真に価値あるものとするために、経営戦略や中期経営計画の策定、情報化企画からITの実装・運営までをシームレスかつ全面的に支援しています。

情報セキュリティ

クラウド環境でのアプリケーション提供、管理・運用コストの削減等を実現するほか、情報漏えい対策にも効果を発揮するハイブリッドシンクライアントソリューションを提供しています。

非接触型指ハイブリッドソリューション

指ハイブリッド（指紋と指静脈）認証を可能とする組み込み用途向け小型モジュールを提供。入退室リーダや複合機等の高いセキュリティが求められる機器において、セキュリティを強化することが可能です。

12 ホームで

安全

駅のホーム用車両接近状況表示、行先案内表示、緊急案内表示

鉄道駅のホームやコンコース用の案内表示等の旅客案内ソリューションを提供しています。

11 駅の改札で

便利

駅改札におけるICカード利用など

出改札業務をはじめ、駅の財務会計業務、他社路線との精算業務、ICカードを利用した業務に関するソリューションを提供しています。

10 モバイルで

便利 安心

スマートフォン向けアプリ

スマートフォンを活用して日々のバイタルデータを登録・管理できる健康管理サポートサービス「健康からだコンパス LifeRoute（ライフルート）」や、大切な情報を外部に流出させる不正アクセスや不正Wi-Fiによる盗聴を事前に検知し、利用者に警告するスマートフォン情報漏えい防止アプリ「セキュアカーテン」を提供しています。

08 銀行で

便利

金融ソリューション

金融システム構築における各種設計技術と各種業務設計ノウハウの提供をベースに、勘定系業務・情報系業務のシステム構築に対し、上流から下流工程までの一貫したソリューションを提供しています。

09 自宅で

便利

ECサイト

健康サービスサイトの運営や、商品販売サイトのシステム開発に携わっています。

在宅就業支援、テレワーク

シンクライアントソリューション、クラウドサービスを利用し、在宅就業やテレワークの環境構築を行っています。

マネジメント編

キーウェアは、経営の健全性・透明性を保ちながら、継続的に企業価値を向上させていくために、経営体制の強化に取り組んでいます。

コーポレート・ガバナンス

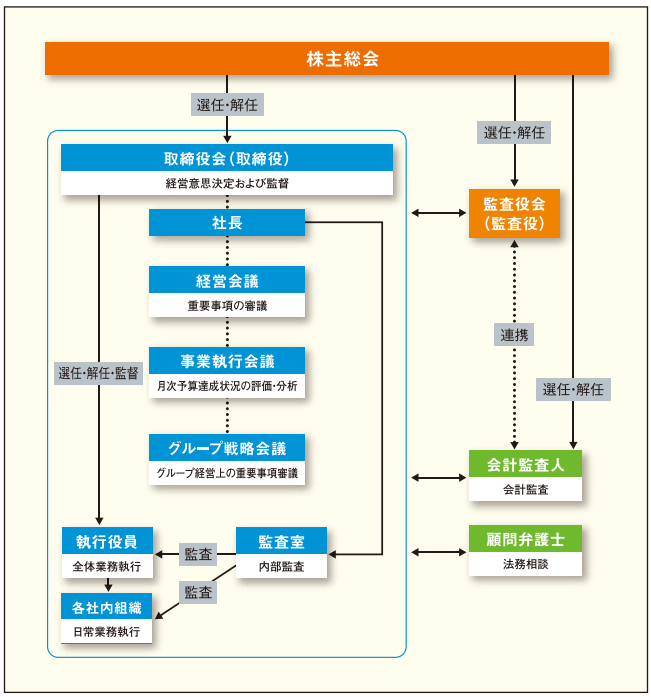
基本的な考え方・推進体制

グローバル化の進展や企業価値重視の経営という流れの中で、企業におけるコーポレート・ガバナンスの重要性はますます高まっています。こうした中で、当社といたしましても、コーポレート・ガバナンスを重要課題の一つとしてとらえ、経営環境の激しい変化に対応すべく、経営の効率化・意思決定の迅速化や、経営監督機能を充実させるため各種施策に取り組んでいます。

[取締役会] 取締役会は、取締役8名（うち社外取締役2名）で構成されます。経営の基本的な方針と戦略の決定および業務執行の監督機関と位置づけています。

[執行役員制度] 2000年7月より業務執行の迅速化をはかるため、執行役員制度を導入しています。執行役員8名（取締役の兼務者が5名）を配置し、取締役会が決定した基本方針に従って業務執行にあたっています。

[監査役会] 監査役会は監査役4名（うち社外監査役2名）で構成されます。取締役会をはじめとする重要な会議への出席や業務および財産などの状況調査を行うことにより、取締役の職務執行を監視・監査しています。



コーポレート・ガバナンス体制（概略）

コンプライアンス

基本的な考え方・推進体制

キーウェアでは、法令および定款の遵守に限らず、社会規範や倫理、道徳など基本的な行動規範の遵守を徹底し、公明正大な事業活動を推進しています。

また、役職員が、健全な社会規範のもとにその職務を遂行するため、経営管理室においてコンプライアンスへの取り組みを横断的に統括することとし、同室を中心に教育等を実施しています。

内部通報制度

法令、社内規定違反などコンプライアンスに反した行為を予防するとともに、早期に発見し、解決するため、「ヘルプライン窓口」を設置しています。通報はプライバシーに配慮した調査のもと、対処・処置については通報者にフィードバックする仕組みとなっています。

コンプライアンスの啓発・教育の実施

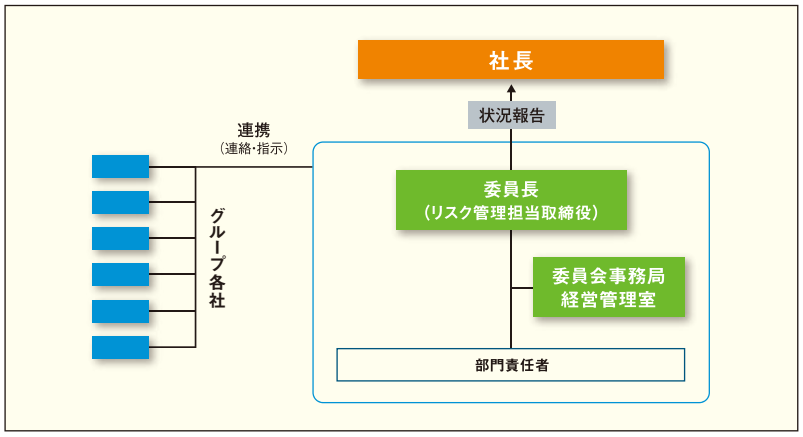
社員のコンプライアンスの徹底をはかるため、全社員を対象として階層別研修やeラーニング等による教育を実施しています。

また、「社員行動規範カード」を全社員に配付し、社員のコンプライアンス意識の向上をはかっています。

リスクマネジメント

基本的な考え方・推進体制

キーウェアでは、自然災害、事故、伝染病および会社の事業運営に重大な影響を及ぼすリスクの未然防止、発生したリスクへの速やかな対応を行うことにより業務運営を継続することを目的とし、リスクマネジメントを推進しています。推進体制として、「リスク管理規程」に基づきリスク管理委員会を設置し、各リスクごとに事業継続のための対処方法等を各種規程等に定め、それらに基づいたリスクマネジメントを実行しています。



リスク管理委員会体制図

大規模災害への対策

地震、台風、伝染病、テロおよび社会インフラ、ライフラインの寸断などによる大規模災害が発生し、キーウェアが被害にあった場合またはあうおそれのある場合、社員の安全確認や事業早期再開に向けた基本方策として「災害対策規程」を整備し、行動マニュアルや備品の整備、防災訓練などを実施しています。

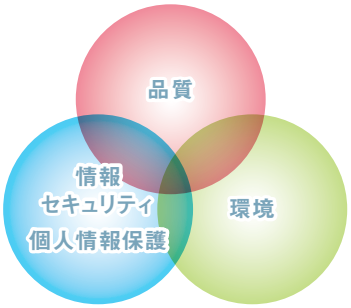
2013年4月に施行された「東京都帰宅困難者対策条例」に対応し、キーウェアソリューションズ八幡山本社および東京地区に所在するグループ各社においては、3日分の水、食料、ブランケット、簡易トイレ等の備蓄を行いました。

防災訓練の様子（八幡山本社）

統合マネジメントシステム（品質・情報セキュリティ・個人情報保護・環境）

基本的な考え方

キーウェアでは、品質マネジメントシステム（QMS）、環境マネジメントシステム（EMS）、情報セキュリティマネジメントシステム（ISMS）、および個人情報保護マネジメントシステム（PMS）を統合したマネジメントシステム「iSMASH」の運用を行っています。



※iSMASH: integrated Synthetic Management System of Quality Assurance for a Software House

品質

キーウェアでは、品質マネジメントシステムの国際規格ISO9001認証を取得し、品質の向上に取り組んでいます。また、品質マネジメントシステム（QMS）の運用だけにとどまらず、現場レベルのPDCAサイクルの好事例を横展開し、全社で品質マネジメントシステム（QMS）をブラッシュアップしていく活動を進めています。

情報セキュリティ

キーウェアでは、ISMS認証を取得し、機密情報管理の徹底を行っています。また、日常的に守るべきルールを「情報セキュリティ遵守事項」としてまとめ、全社員および当社業務に関わるパートナー社員に配付しています。「情報セキュリティ遵守事項」は、社内外の状況変化に対応するため、毎年見直しを行っています。これに加え、全社・部門・プロジェクト等の各階層において、情報セキュリティ教育を継続的に実施し、情報セキュリティ意識の向上をはかっており、効果が表われています。

個人情報保護

キーウェアでは、個人情報の取り扱いに際して十分な配慮を行い、個人情報保護に努めています。また、キーウェアグループ（キーウェアサービスおよびキーウェア九州を除く）の各社において、プライバシーマーク認証を取得しています。

環境編

キーウェアでは、環境問題への取り組みを企業の社会的責任と認識し、豊かな社会と環境の実現に貢献してまいります。また、環境省が提唱しているチャレンジ25に参加し、温室効果ガス削減に積極的に取り組んでいます。

iSMASH方針

QMS、EMS、ISMS、PMSを統合したマネジメントシステム「iSMASH」の運用を行っています。 ※詳しくは6ページをご覧ください。

iSMASHの目的

1. 顧客要求事項・法令規制要求事項を満たす製品・サービスを提供することはもとより、品質および生産性を向上し、顧客満足を向上すること。
2. 顧客からの預かり品を含む当社の所有する情報資産に対する適切な情報セキュリティを確保し、社会的信用の失墜、事業の中断および会社資産の喪失を防ぐこと。
3. 特に個人情報に関しては、取得、利用、提供、保管および廃棄等を適正に行うこと。
4. 環境問題への取り組みを企業および個人の社会的責任と認識し、生物多様性の保全と持続可能な社会の実現に貢献すること。

目的を達成するために、次の各号に掲げる事項を実施する

1. 全体・各階層で、目標を設定し、計画し、プロセスを実施する。
2. プロセスを実施した結果を定量的に測定し、分析する。
3. 実績やノウハウ等の経験を組織的に蓄積する。
4. 関連する法律、規則や必要とした要求事項を遵守する。
5. 継続的改善を実行する。

重点施策として次の各号を実施する

1. 品質
   引き合いから納品までの各段階で検証等を行い、要求事項を満たす。
2. 情報セキュリティ
   情報資産を特定し、リスクアセスメントし、管理策を定め、実施する。
3. 個人情報保護
   情報資産の中で特に個人情報について管理策を強化する。
4. 環境
   省資源・省エネルギー、環境に配慮した製品サービスの購入および提供をし、3R（リユース、リデュース、リサイクル）を徹底する。

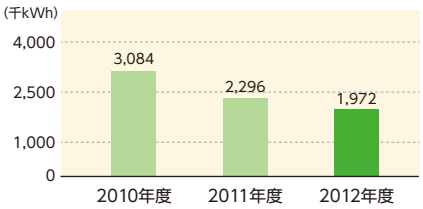
2013年4月12日改定
キーウェアソリューションズ株式会社　代表取締役社長　三田 昌弘

iSMASH目標

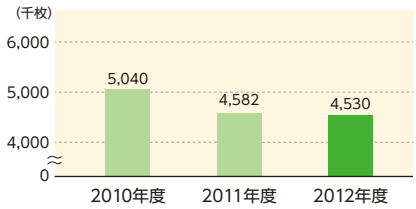
目 的	2012年度		2013年度
	目 標	実 績	目 標
環境パフォーマンスの向上	電力使用量：前年度より3%削減	前年度と比較して15.8%減	電力使用量：2012年度より3%削減
	紙使用量：前年度より3%削減	前年度と比較して1.1%減	紙使用量：2012年度と同等以下
	廃棄物量：前年度より3%削減	前年度と比較して14.2%減	廃棄物量：2012年度と同等以下
	時間外勤務時間：計画値を超えないこと	26部門中4部門が計画値内	水使用量：2012年度と同等以下
			グリーン調達率：2012年度より同等以上

環境パフォーマンス

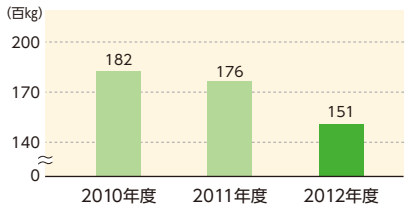
電力使用量　前年度比 14.1%改善



紙使用量　前年度比 1.1%改善



廃棄物量　前年度比 14.2%改善



※キーウェアソリューションズ（株）、キーウェアサービス（株）のみ計測

特筆すべき活動

環境関連の法規制遵守

環境法規制、地方自治体の条例やお客様からの要求事項を特定し、定期的に遵守状況を確認しています。

その結果を経営者へ報告することで、遵法性評価のPDCAを確実に展開しています。

環境教育

キーウェアの環境活動に関わるすべての関係者に教育を実施しています。

- 全社員に対しWBT(Web Based Training)による環境教育を実施。
- その他協力会社(廃棄物業者・清掃業者等)に対し、周知文書・依頼文書を通じた教育を実施。
- 中途採用者およびプロジェクトへの新規参画協力会社社員に対する教育を随時実施。

「せたがやエコチャレンジ」への参加

キーウェアは、本社のある世田谷区で「せたがやエコライフ推進事業所宣言」をしております。2012年度は「せたがやエコチャレンジ」に参加し、主に節電対策に取り組みました。節電対策のワーキンググループを発足し、パソコンによる電力使用量の見える化などに取り組んだことにより、夏季の電力使用量を27.3%削減しました。この結果について、世田谷区主催の活動報告会で発表いたしました。

保護(まもる)くんを活用したリサイクル活動

	2010年度	2011年度	2012年度
年間排出量	15,820kg	16,200kg	14,825kg
森林伐採抑制量	238本	243本	221本
CO_2排出抑制量	6,852kg	7,026kg	5,848kg

保護(まもる)くんとは、

株式会社日本パープルが提供している、重要書類の保管・機密抹消処理・リサイクルシステムです。本サービスを活用することで、紙類・PC関連媒体のリサイクルに貢献し、地球環境の保護にも貢献しています。

また、カーボンオフセットサービス「保護くんZERO」があり、カーボンオフセットにも貢献しています。

エコキャップ活動

キーウェアは、「エコキャップ運動」に参加しています。エコキャップ運動とは、ペットボトルのキャップを集め、リサイクルメーカへ売却し、その売却益をワクチン寄贈団体に寄付し、世界の子どもにポリオワクチンを届けるという運動です。この活動を通じて、地域環境、限られた資源を有効に活用することなどを考えています。キーウェアでは、2008年12月から活動を開始し、2013年3月末までに約40万個のキャップを回収しました。換算すると、510名分のポリオワクチンを子どもたちに届けたことになります。

「ニチバン巻心ECOプロジェクト」への参加

キーウェアは、「ニチバン巻心ECOプロジェクト」に参加しました。「ニチバン巻心ECOプロジェクト」とは、使い終わったガムテープやセロハンテープの巻芯を回収し、段ボールにリサイクルし、回収利益をマングローブの植樹活動に役立てるというものです。

資源の有効活用だけでなく、マングローブの植樹により、豊かな生態系の再生、地球温暖化の防止、周辺地域を台風や高潮被害等から守るなど、環境保護にも貢献しています。

「経団連自然保護基金」への寄付活動

キーウェアソリューションズは、「経団連自然保護基金」へ寄付を行っております。

同基金は、多くの民間企業や個人の寄付を受け、アジア太平洋地域や国内の自然保護保全を行うための活動への助成事業を行っています。

社 会 編

キーウェアは、経営理念として掲げている「社会的役割」の考え方に基づき、企業活動を通じて豊かな社会の発展に貢献するとともに、さまざまなステークホルダーの皆様との関係を重視し、ともに成長・発展していくための取り組みを行っています。

お客様とともに

お客様満足（CS）向上

キーウェアでは、より高品質のソリューションサービスを提供し、お客様にご満足いただくため、日頃より改善活動に努めています。

ＣＳ向上勉強会を開催

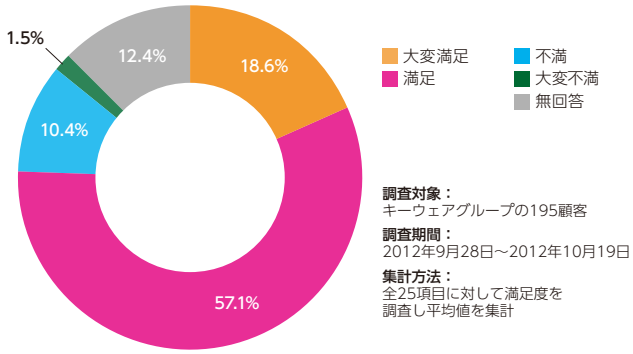
社員のCSの意識を高めるため、2012年度はCS向上勉強会を開催しました。これまでのCS向上検討会は大会場での結果報告が中心でした。12年度はこれを改め、参加者個々人にCS向上について考えてもらうよう少人数の勉強会形式としました。勉強会ではグループに分かれて現状の課題等をディスカッションし、最後に各人がCS向上のために何をするか書き出しました。参加者からは、「チーム、顧客と積極的にコミュニケーションをはかりたい」「作業の文書化やツールを活用してノウハウを共有したい」等の意見が挙がりました。今年度もCS向上のための勉強会を継続していきます。

CS向上勉強会

お客様満足度アンケート実施

キーウェアでは、定期的に主要顧客に対してお客様満足度アンケートを実施。アンケート結果を評価・分析することで、自身の業務を見直し、お客様によりご満足いただけるよう、継続的改善をはかっています。

2012年度 お客様満足度アンケート結果



株主・投資家の皆様とともに

基本的な考え方

キーウェアソリューションズは、市場から適正な評価を得るために、企業としての説明責任を果たすことを経営の最重要課題の一つとして位置づけています。

株主・投資家をはじめとしたステークホルダーの皆様へ、充実した情報開示を行うことにより、キーウェアソリューションズに対する理解を深めていただくとともに、皆様の声を社内へフィードバックし、経営・ＩＲ活動へ活かしていくことで企業価値向上に努めてまいります。

情報開示の基本方針

株主・投資家の皆様に適時、正確かつ公平な情報を提供するため、会社法、金融商品取引法、各種法令等を遵守し、東京証券取引所の「上場有価証券の発行者の会社情報の適時開示等に関する規則」で定める情報およびそれらに準拠した情報ならびにその他の重要な情報を迅速に公開するほか、キーウェアソリューションズを理解していただくために有効な情報につきましても、積極的な開示に努めることを基本方針としています。

株主・投資家の皆様とのコミュニケーション

株主・投資家の皆様向けのIRツールとして、株主通信「KEYWARE TIMES」や、アニュアルレポートなどを発行しています。また、多くの方に迅速かつ公平にIR情報をお伝えするため、IRサイトにおいて、決算情報、財務データをはじめ、キーウェアの強みや特長などを日本語と英語で掲載しています。また、機関投資家向け決算説明会の様子や社長による決算説明を動画配信し、IRサイトの充実をはかっています。

「個人投資家の皆さまへ」
より深くキーウェアをご理解いただくために個人投資家の皆様へ向けた情報を発信しております。
http://www.keyware.co.jp/ir/kojin/index.html

「決算説明会（動画配信）」
決算説明会の動画を資料とともに配信しております。業績報告や今後の戦略などについてわかりやすくご説明しております。
http://www.keyware.co.jp/ir/index.html

地域社会とともに

東日本大震災 復興支援活動

東日本大震災からの復興を願い、東北6県の祭りが集う「東北六魂祭　2013」が2013年6月に福島県福島市で開催されました。キーウェアソリューションズは、「東北六魂祭」の開催主旨に深く共感し、東日本大震災復興支援への取り組みの一環として、3回目となる今年もベネフィット・ワンふれあいコーナーに出展いたしました。当社のブースでは、東北支店の社員も参加し、iPadを活用した子ども向け抽選会やフェイスペイントのイベントを行い、大変多くの方々に足をお運びいただきました。キーウェアでは、今後も企業活動を通じ、復興のお役に立てるよう取り組んでまいります。

地域清掃活動

キーウェアソリューションズでは、本社のある東京都世田谷区で周辺地域の清掃活動に取り組んでいます。地域社会の環境美化や住みよい街づくりに貢献することを目的に、月1回実施し、役員・社員によるボランティアが参加しています。

収集・リユース等のボランティア活動

キーウェアでは、社員一人ひとりの環境意識の向上や社会貢献のために、誰でも参加できるボランティアに取り組んでいます。

エコキャップ運動
NPO法人「世界の子どもにワクチンを 日本委員会」にペットボトルキャップを集めて寄贈

使用済み切手の回収
国際協力NGO ジョイセフへ寄贈

不用カレンダーの寄贈
日本災害救援ボランティアネットワークが主催するカレンダーリサイクル市に寄贈

インターンシップの実施

2009年度より、学生の皆様の職業観・就業意識の形成・向上を目的として、インターンシップを実施しています。

システムエンジニアの仕事を理解していただくために、仮想プロジェクトチームを組み、当社が開発した企業向けソリューションを用いてお客様企業の問題解決をはかる企業向けサービスや、暮らしの中にある身近な課題をもとに、新たなサービスを創出するサービス企画開発のプロセスなどを体感していただきました。

社員とともに

人材育成への取り組み

キーウェアでは、社員と会社が互いに成長できる会社を目指しています。また、社員の技術スキルレベルの向上をはかり、より専門性を高めることを、経営戦略の重要テーマとしています。

キーウェアでは、社員一人ひとりの適性・志向に合ったキャリアアップを支援するため、部門ごとに標準キャリアパスを設定し、そのキャリアパスに沿って、技術系／ビジネス系／ヒューマン系の体系的な研修を提供します。そして、ITSSツールを用いてスキルアップ計画を策定し、PDCAサイクルに沿った組織的・計画的な研修・OJT（先輩・上司による現場教育）による指導・育成を実施しています。すべての社員を対象として、「階層別研修」「目的別研修」「専門スキル研修」などの研修プログラムを実施しているほか、社員のスキル向上および自己啓発支援の一環として、資格取得を推進し、会社が必要と認めた公的資格・認定資格を取得した者に対しては一時金として資格取得奨励金を支給しています。

2012年度より、人事考課制度に「役割グレード制」を導入し、併せて人材育成プロセスの改善に着手しました。若手社員の育成、新技術習得やグローバル人材育成を意識した公募制の研修（フロンティア・チャレンジ研修）制度をスタートさせ、次世代人材育成の強化に着手しております。

ワークライフバランス～次世代育成支援の取り組み～

社員が仕事と子育てを両立させることができる働きやすい環境をつくることによって、すべての社員がその能力を十分に発揮できるよう、次のように3ヵ年計画を策定し実行しています。

- 社員の仕事と子育ての両立を推進する諸制度（育児休業制度、育児時短制度、子・家族の看護休暇、フレックスタイム制度、外部カウンセリング窓口など）の周知徹底を行うとともに、利活用を促進します。
- 社員が家族との時間を大切にできるように、計画年休の日数を増やすとともに、年次休暇を取得しやすい風土・環境づくりを目指します。

育児休業取得者・育児時短勤務利用者数

	2010年	2011年	2012年	2013年
育児休業取得者	3人	6人	5人	1人
育児時短勤務利用者	1人	2人	6人	7人

各年4月1日時点、キーウェアグループ全体

健康管理とメンタルヘルスケア

社員が健康で安心して働ける環境づくりをテーマに、2007年にEAPサービス（外部カウンセラー相談窓口）を導入、2009年には保健師による健康相談（長時間労働者、健康診断有所見者）を開始し、社員ならびに家族の心身の健康をサポートする制度の充実をはかっています。

会社概要

会社名	キーウェアソリューションズ株式会社
創立	1965年5月
資本金	17億37百万円
売上高	163億33百万円（2013年3月期・連結）
従業員数	1,087名（2013年3月末現在・連結）
上場証券取引所	東京証券取引所市場第二部
キーウェアグループ	キーウェアサービス株式会社
	キーウェア北海道株式会社
	キーウェア西日本株式会社
	キーウェア九州株式会社
	株式会社クレヴァシステムズ

編集方針

「キーウェアグループ　CSR報告書2013」をお読みいただき、誠にありがとうございます。キーウェアのCSR活動の内容と結果について、ステークホルダーの皆様に、適切にわかりやすくご報告することを目的として「CSR報告書」という形でご報告させていただいております。

キーウェアは、今後も企業活動を通じて豊かな社会の発展に貢献するだけでなく、広く社会とともに継続性のある未来を築いていくため、積極的にCSR活動を行ってまいります。本報告書をお読みいただき、ぜひ忌憚のないご意見やご感想をお寄せいただければ幸いです。今後のCSR活動の参考とさせていただきます。

ホームページ

キーウェアの社会・環境活動（CSR）につきましては、ホームページでもご覧いただけます。
http://www.keyware.co.jp/csr/index.html

報告対象組織

キーウェアグループ全体を対象としています（キーウェアソリューションズ株式会社のみに限定される事象の報告については、本文中に明記しています）。

報告対象期間

2012年度（2012年4月1日～2013年3月31日）
※一部に2013年度以降の活動も含んでいます。

発行年月

2013年8月

表紙デザインについて

明るい暮らしを印象づける街並みにキーウェアの事業に関連したイメージ写真を配置することで、ICTを通じたキーウェアの事業が人々の豊かな暮らしを創造している様を表現しています。

KEYWARE SOLUTIONS
キーウェアソリューションズ株式会社

〒156-8588 東京都世田谷区上北沢5-37-18 管理本部 経営企画室 広報IR部
TEL 03-3290-1111　FAX 03-3290-6741
http://www.keyware.co.jp

※掲載されている会社名と製品名はそれぞれ各社の商標または登録商標です。